

2025 年 12 月 26 日

## 臨床研究へのご協力をお願い

東京医科大学病院内視鏡センターでは、下記の臨床研究を東京医科大学医学倫理審査委員会の審査を受け、学長の承認のもと実施いたしますので、研究の趣旨をご理解いただきご協力をお願いいたします。

この研究の実施にあたっては患者さんの新たな負担(費用や検査など)は一切ありません。また個人が特定されることのないように患者さんのプライバシーの保護には最善を尽くします。

この研究の計画や研究の方法について詳しくお知りになりたい場合や、この研究に検体やカルテ情報を利用することを了解いただけない場合などは、下記の「問い合わせ先」へご連絡ください。ご連絡がない場合には、ご同意をいただいたものとして研究を実施させていただきます。

### [研究課題名]

挿入形状観測装置機能(大腸スコープの軌道を記録できる機能)を装備した大腸内視鏡の有用性の検討

### [研究の背景と目的]

2016 年に胃がん検診において、胃内視鏡が推奨され、日本全国で行われています。次は大腸内視鏡検診の気運が高まっています。しかし、大腸内視鏡検診を普及させるためには、多くの内視鏡医が大腸内視鏡の検査・診断を習得する必要がある、わかりやすく、安全な挿入が要求されます。北欧の大腸内視鏡スクリーニングにおいて、CO<sub>2</sub> 送気とともに挿入形状観測装置機能 endoscopy position detecting unit (UPD)の使用が推奨されています。

今回我々は、この UPD 機能を装備した細径内視鏡(PCF-H190D、PCF-H290D) にて下部消化管内視鏡検査を受けた患者さんを対象として、内視鏡検査・治療の有用性について検討いたします。

### [研究の方法]

#### ●対象となる方

東京医科大学病院において、2018 年 2 月 1 日より 2025 年 12 月 26 日までの間に PCF-H190D および PCF-H290D にて下部消化管内視鏡検査を受けた患者さんで、UPD 機能を用いて大腸内視鏡診断された方

#### ●研究期間

倫理委員会承認後から 2027 年 12 月 31 日

#### ●利用する検体やカルテ情報

大腸内視鏡の画像および UPD グラフィック画像や年齢・性別などをカルテから情報とし

て使用いたします。

●検体や情報の管理

研究代表者河合隆のもと、画像・カルテ情報は東京医科大学病院にて閲覧し、外部には持ち出しません。

[研究組織]

(単施設研究の場合)

●研究代表者:河合 隆

東京医科大学病院健診予防医学センター

〒163-1307 東京都新宿区西新宿6-5-1 新宿アイランドタワー7F TEL 03-5323-0320

研究分担者	東京医科大学病院健診予防医学センター	非常勤講師	河合優佑
	東京医科大学病院健診予防医学センター	講師	張 萌琳
	東京医科大学病院健診予防医学センター	臨床准教授	岩田英里
	東京医科大学病院健診予防医学センター	准教授	新倉量太
	東京医科大学病院健診予防医学センター	准教授	永田尚義
	東京医科大学大学院健診予防医学センター	客員教授	杉本光繁
	東京医科大学病院消化器内科	准教授	福澤誠克
	東京医科大学病院消化器内科	主任教授	糸井隆夫

[個人情報の取扱い]

本研究で得られた個人情報は符号をつけることで匿名化を行います。また、データシートなどには、名前、患者番号など個人の特定に通じる情報は記載せず、符号(データ番号)のみで対応させ、研究計画書に記載された目的以外の研究には使用しません。施錠と入室・出室管理のできる室内においてデータおよび両者の対応表は個人情報管理者(河合隆)によって厳重に管理されます。

[問い合わせ先]

研究代表者:河合 隆

東京医科大学病院健診予防医学センター

〒163-1307 東京都新宿区西新宿6-5-1 新宿アイランドタワー7F

電話番号:03-5323-0320